



(所蔵) 札幌市埋蔵文化財センター

(写真1) N30 遺跡から出土した縄文時代晩期の土偶。



(所蔵) 札幌市埋蔵文化財センター

(写真2) N30 遺跡のお墓。白枠で囲んだ部分に、サメの歯が2列に並んでいることが分かります。



N

(所蔵) 札幌市埋蔵文化財センター

(写真3) N162 遺跡の竪穴住居跡(北北西より)。当初5.0×4.8mのものが5.7×5.5mに増築され、さらに西側の壁も70cm(白枠で囲んだ部分)拡張されています。

西区の主な遺跡紹介

【N30遺跡】

N30遺跡は、平成7、8年の調査で二十四軒4条1丁目(現北海道職業訓練支援センター ポリテクセンター北海道敷地内)から発掘された遺跡です。この遺跡からは、縄文時代後期から晩期にかけての竪穴住居跡や大量の土器や石器が出土しています。

土偶(写真1)は、お墓の上から見つかったもので全長24cmと大変大きく、顔には「仮面」を付けていると見られ、両耳にはイヤリング用の穴が開いています。

サメの歯(写真2)は2列に並んで発見されたことから、木や革などに歯を装着して装飾品や工具として使った可能性も考えられる大変珍しい資料です。

【N162遺跡】

N162遺跡は、二十四軒2条4丁目に位置し、マンション建設に伴って昭和48年に発掘調査が行われました。この遺跡からは、擦文時代初期の竪穴住居跡が2軒見つかりました。このうちの1軒の竪穴住居跡(写

【N426遺跡】

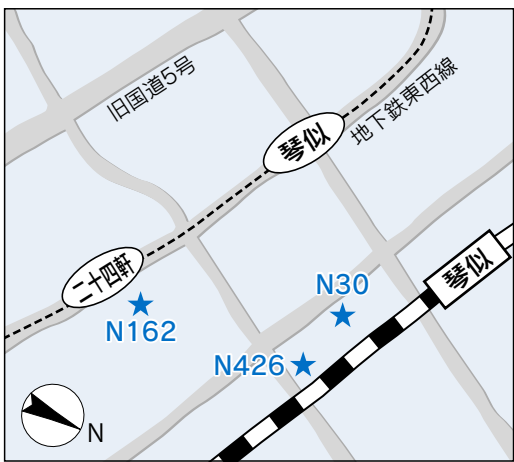
N426遺跡は、平成2年に二十四軒3条1丁目から発掘されたもので、N162遺跡と同じ擦文時代初期の竪穴住居跡6軒と焚き火跡2カ所、擦文土器(写真4)などが見つかりました。また、縄文時代晩期の土器や石器なども出土しています。

真3)は増築した痕跡が認められており、擦文時代の住居跡の発掘例としては非常に珍しいものです。



(所蔵) 札幌市埋蔵文化財センター

(写真4) N426 遺跡から発掘された甕形の擦文土器。



※本特集は、「さっぽろ文庫90 古代に遊ぶ」(札幌市教育委員会編)を参考に構成しています。

西区の遺跡に関する資料を展示している施設を紹介します

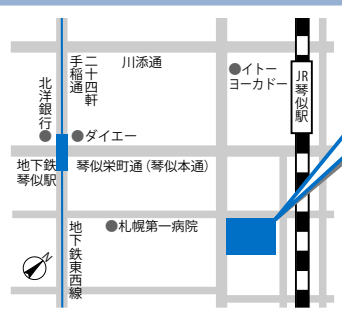
見学無料!

N30 遺跡の資料を展示しています

北海道職業訓練支援センター (ポリテクセンター北海道)

二十四軒4条1丁目
Tel 640-8822 (代表)
(JR「琴似駅」から徒歩5分または地下鉄「琴似駅」から徒歩8分)

【開庁時間】
月～金曜日の9時～17時
(祝日、振替休日、年末年始は閉庁)



札幌市埋蔵文化財センター

中央区南22条西13丁目
Tel 512-5430
(市電「中央図書館前」から徒歩1分またはじょうてつバス「南21条西11丁目」から徒歩3分)

【展示室開館時間】
8時45分～17時15分
(祝日(5月3～5日、11月3日を除く)、振替休日、年末年始は休館)

